

令和4年度 三刀屋高校掛合分校 道徳教育全体計画

| 諸法規 |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・日本国憲法 ・教育基本法 ・学校教育法 ・教育諸法規 ・学習指導要領 |

| 生徒の実態 |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・人懐っこく素直な生徒が多い。 ・学校集団が少数であるため、人間関係が固定化し、閉塞感を覚える生徒もいる。 ・人との関わり方に不安を抱える生徒もあり、友達とのトラブルに発展するケースも見られる。 ・家庭での学習習慣が十分に確立していないため、基礎学力にやや不安を抱える生徒が見られる。 ・自尊感情があまり高くなく、自己有用感を持っていない生徒も見られる。 |

| 保護者の願いの主な内容 |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・進路目標の達成 ・他人を思いやる心の成長 ・「学び直し」による基礎学力の定着 |

| 特別活動 |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・HR活動 HR活動を通して、望ましい人間関係を形成し、集団の一員として責任感を持って行動する姿勢を身につける。 ・生徒会活動 生徒会執行部を中心に、学校生活づくりを企画し、委員会活動等自主的、計画的な活動を通じて愛校心や自立心を育てる。 ・学校行事 体育祭や文化祭等を生徒自らが中心となって運営することにより、自主性や集団の一員としての責任感、協調性の育成を図る。 |

| 生徒指導 |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・「定期服装指導」、職員室等への『入室心得』の徹底、「校則」の遵守等を通じて望ましい社会性を習得させるとともに規範意識を高める。 ・月1回の職員連絡会を実施し、生徒についての情報を共有して生徒理解を深めるとともに、全教職員による一貫した指導を実施する。 |

| 校訓 |
|---|
| <p style="text-align: center;">志操堅固</p> |

| 学校の教育目標 |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ふるさとを愛し人を愛し、志をもって社会に貢献する人材の育成 ・自己の可能性に挑み、主体的に道を拓いていく人材の育成 |

| 道徳教育の重点目標 |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・自他の人権を尊重し、豊かな人間関係を構築する態度を育てる。 ・集団や社会の一員としての自覚を持ち、公共のために労を惜しまない精神を養う。 ・基本的生活習慣を確立し、生徒が自己探求と自己実現を図るように努めさせる。 |

| 各学年の重点目標 | | |
|---|---|---|
| 第1学年 | 第2学年 | 第3学年 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・基本的生活習慣の確立に努める。 ・集団の一員としての自覚を持ち、自他を認め共に学ぶ態度を養う。 ・集団の中での規範意識を身につける。 | <ul style="list-style-type: none"> ・正しい勤労観や職業観を培う。 ・他者とのコミュニケーション力を育て、自他の人権を尊重する人間関係の育成を図る。 ・異文化を理解する素養を身につける。 | <ul style="list-style-type: none"> ・社会人としてのマナーや規範意識を身につける。 ・社会の様々な課題を解決していく意欲や態度を育てる。 |

| 教科・科目 | |
|-------|---|
| 国語 | 読む力や書く力を付けることによって、道徳教育の基盤となる互いの立場や考えを尊重しながら言葉で伝え合う力を高める。また、心情を豊かにし、言語感覚を磨くことで道徳的心情や道徳的判断力を養う基本を身につける。 |
| 地理・公民 | 我が国や世界の歴史と生活・文化の地域的特色を理解し伝統と文化を尊重し我が国と郷土を愛する心を育てるとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に貢献する意欲を育てる。 公民科では、幸福、正義、公正などについて理解させ、現代社会や地域社会の諸課題を取り上げて考察させ人間としての在り方生き方について考えさせる。 |
| 数学 | 生徒が数学的な課題に対して、いろいろな筋道を立てて考え、解決する能力を高めることで、物事に対して多角的に考え、工夫して生活や学習をする態度を育てる。また、数学的論拠に基づいて論理的に判断する態度を育てることで、客観的な判断力や道徳的判断力を育てる。 |
| 理科 | 自然の事物・現象を探究する活動を通して、地球の環境や自然と人間とのかかわりについての認識を深め、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を身につける。また、目的意識をもって観察、実験を行うことや科学的に探究する能力や態度を育てることで、科学的な自然観を育成する態度や、生命倫理を大切にしようとする態度を育てる。 |
| 保健体育 | 体育科では、ルールやマナーを大切に、自己の責任を果たそうとすること、チームの合意形成に貢献しようとするなど公正、協力、責任などに対する態度を身につけさせる。また集団でのゲームを通して、粘り強くやり遂げる力などを育てる。 保健科では、健康・安全についての理解を深め、健康で安全な社会の形成を目指す態度を育てる。 |
| 外国語 | 積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を養い、相手の立場や考えを理解し尊重しながら自分の気持ちや考えを伝える力を育てる。また、外国語の仕組みやその言語の背景にある文化に対する理解を深め、広い視野や国際感覚の育成に努める。 |
| 家庭 | 生活に必要な知識と技術の習得を通し、家庭や地域社会の一員として自分の生き方を考え、生活をよりよくしようとする意欲をもたせる。また、家族・家庭の意義や地域社会との関わりについて理解することを通して、自他を大切にすることを大切にすることを育てる。 |
| 商業 | 目標をもった意欲的な学習をとおして、課題を探究し解決する力、自ら考え行動し、適応していく力、コミュニケーション能力、協調性、社会への適応力、学ぶ意欲、働く意欲、チャレンジ精神などの積極性・創造性を育てる。また、職業人として必要な人間性を養うとともに、生命・自然・ものを大切にする心、規範意識、倫理観等を培う。 |
| 情報 | 情報に関する科学的な見方や考え方を養うとともに、社会の中で情報及び情報技術が果たしている役割や影響を理解させる。また、情報社会で適正な活動を行うための基になる考え方と態度を身につけさせ、情報社会に参画する態度を育てる。 |

| 道徳教育の推進体制 |
|---|
| <p>①総務部</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校行事を通じて集団の一員としての自覚を持つとともに、地域社会との連携を深め、社会の一員としての基盤を身につける。 ・PTA・後援会その他諸団体との関わりを通じて、他者への配慮ができる態度を育てる。 <p>②教務部</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総合的な探究の時間を通して、勤労の尊さやボランティア精神を育成する。 ・課題研究を通じて自己に自信を持ち、他者を理解することに努める意識を身につける。 ・海外研修等を通じて、異文化理解を深め、自他の人権を尊重する基盤を身につける。 (※R4は海外研修旅行は中止) <p>③進路指導部</p> <ul style="list-style-type: none"> ・進路学習の中で職業に対する偏見をなくし、正しい職業観・勤労観を育て、社会のニーズに応えられる人間力を育てる。 ・キャリア教育を通じて、生徒一人一人の自尊心を育み、他者とコミュニケーションをとりながら、色々な場面で自らの役割を積極的に果たそうとする態度を育成する。 <p>④生徒指導部</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホームルームを通じて基本的人権の尊重が民主的な社会生活の基本であることを理解し、いかなる差別も許さない態度を育てる。 ・利己心や排他的な考えによる狭い仲間意識を克服させ、強い正義感と連帯感を育てる。 ・ボランティア活動への参加を通して、生徒の自尊感情を高め、ホスピタリティ精神を養う。 ・地域、小学校、保育園との交流活動を通して、他者への配慮ができる態度を身につける。 <p>⑤教職員全体</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教師の言動も生徒たちの立ち振る舞いのサンプルとなることを日頃から意識し、行動する。 ・率先して感染症その他の疾病に関する差別やいじめを生まない組織風土の醸成に努める。 |

| 総合的な探究の時間 |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・インターンシップ、地域体験学習 地元企業や農家で働くことで、地域住民との交流をはかるとともに、勤労の尊さや創造することの喜びを体感させる。社会人としてのマナーを身につけ、自己実現のために必要な資質を育てる。 ・地域交流、ボランティア活動 地域でのボランティア活動を通して他者の気持ちを理解することや他者のために働くことの喜びを体感させ、連帯感や自己の存在感を実感させる。また、地域のイベントなどに積極的に参加し、地域貢献の態度を養う。 ・地域課題研究 ふるさとへの理解を深めるとともに、地域社会の様々な課題を解決していく意欲と郷土を愛する心を育てる。 ・進路学習等 面接指導や個別指導により、自己を見つめさせるとともに、コミュニケーション能力の向上を図る。 |

| 家庭・地域との連携 |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・「かけこう通信」を月1回保護者に配布し、学校での教育活動の理解と協力を求める。 ・学校での各行事にPTAが参加することで、教職員と保護者の協働をすすめる、生徒指導に生かす。 ・地域での生徒のあいさつについての良好な評価を維持向上させるよう、生徒会等がふるまい向上をはかるよう指導支援する。 |

| 異校種との連携 |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・地域の保育園、小学校、中学校と地域の清掃活動を行うことで、高校生として手本になる行動力や姿勢を考え、実践できるようにする。 ・地域の小学生に本の読み聞かせを行い、ボランティアとして他者への配慮ができる態度を養う。 |

| 「しまねのふるまい」にかかわる取り組み |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・地域課題研究、交流地域訪問 多様な人々との交流や対話的な学びを通して、「ふるまい」の向上や定着を図る。 ・ごみゼロ大作戦 地域住民、地域の小中学校と合同で清掃活動を行い、高校生として小中学生の手本となり、社会人としての道徳的実践力を育成する。 ・本の読み語り研修会 次世代の人間として、子ども世代の手本となるよう道徳的実践力の基盤の育成を図る。 ・掛合の子どもを育てる会との連携 「かけやの大人の心得」を実践することで、挨拶の手本を大人が見せる、地域行事を一生懸命行う姿を大人が見せる。 |